

日本初、沖縄のパイナップルの葉からできた パイナップルペーパー



PINEAPPLE PAPER

(商標登録出願中)



UPCYCLING

「アップサイクル」を ご存じですか？

アップサイクルとは、本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。

弊社は沖縄のパイナップルの葉が収穫後、大量に廃棄されている事を知り、有効的にアップサイクルできないものかと考えました。そして生まれたのが沖縄初のアップサイクルペーパー「パイナップルペーパー」です。

Project episode

弊社が「パイナップルペーパー」の商品開発に挑む背景には、収穫後大量に廃棄されていたパイナップルの葉があることを知りもったいないと感じておりました。一部リサイクルされているものの、リサイクルしきれなかった多くの葉や茎は、畑にまかれ、肥料の一部となっておりますが、有効的にアップサイクルできないものかと考えました。弊社には、放置竹林から発生する竹を有効活用し、竹紙としてアップサイクルに成功した事例に携わった社員が在籍しているので、その経験を活かし、SDGsに貢献する製紙会社と連携をはじめ、試作を繰り返し、ようやく製品化に成功しました。



令和4年度の沖縄県におけるパイナップルの収穫量は7,420t(農林水産省統計部「果樹生産出荷統計」参照)。これは果実部分の量です。パイナップルの葉は、食用果実の数倍となるため、その利活用は大きな問題です。

沖縄県国頭郡東村の畑で収穫後、不要になった葉は廃棄処分されます。この茎と葉の選別作業はパイナップルの繊維を熟知した人でなければできないため、農家さんが手作業で行っています。



使いきれなかったパイナップルの葉を乾燥させ、製紙工場へ送る。パイナップルをイメージさせる風合いが特徴のオリジナル用紙が完成!

商品ラインナップ

泡盛ケース・タルトケース
観光施設チケット・封筒・名刺
パンフレット・メモ帳などの
オリジナル商品に



B BRISTA